

種名と配列に関わる解説等（尾索動物門）

○目録の解説

尾索動物門は、岡山県野生生物目録の前版（2009）では「脊索動物門」とされていたが、今回は従来の脊索動物を上門（superphylum）とし、尾索動物をその下位の門とする体系（Satoh *et al.*, 2014）を採用した。科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

学名や綱以下の分類体系は、インターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に概ね準拠した。

岡山県野生生物目録前版での「脊索動物門」のうち、ここでいう尾索動物門に相当する登載種数は11であった。この10年間に9種が新規追加され、現時点の種数合計は20となった。新規追加種は主に岡山大学玉野臨海実験所の記録（1978）および協力員の確認記録によった。

目録作成は協力員の多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）が中心となり、検討会委員の福田 宏の協力を得て行った。本解説は多留聖典が作成した。

○主な参考文献

岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和50-52年度文部省科学研究費補助金総合研究A研究成果報告)*, 158-170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.

Satoh, N., Rokhsar, D. & Nishikawa, T., 2014. Chordate evolution and the three-phylum system. *Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences*, **281**: 20141729.

WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019年2月14日閲覧)